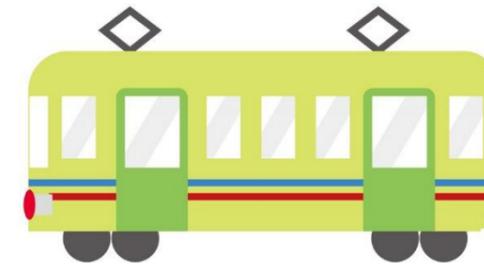


## 地域の乗り物の歴史



### ○昔の電車

#### ①豆相人車鉄道

1895年から1923年に活躍していた世界の中でも珍しい人間の力で押す鉄道です。

湯河原や熱海に多くの観光客が温泉を目当てに訪れていましたが交通の便が悪く不便な場所でした。

そこで地元の人たちから「鉄道を作ろう!」という声があがり、この豆相人車鉄道が出来上がりました。

小田原から熱海まで25.6キロメートルを約4時間かけて走り、1車両にお客さんは平均6人、それを2~3人の車夫さんが押していました。(いまの電車では約22分、新幹線では10分)

一番の難所の真鶴~江の浦間の坂ではお客さんも一緒に降りて電車を押すのを手伝っていました。

撮った写真があったら  
貼ってみよう!

#### ②小田原の路面電車

1888年から1956年まで小田原にも路面電車がありました。

当時は小田原と箱根方面に電車がなかったため、国府津から小田原・箱根に繋がる電車として開業されました。

最初は馬車の鉄道でしたが、1900年に電気で走る日本で4番目の電車になりました。

1956年に廃線されましたが、今年65年ぶりに小田原に帰ってきました!

撮った写真があったら  
貼ってみよう!

## ○今の新幹線

新幹線は1964年に初めて走りだしました。1964年は最初の東京オリンピックの年です。当時は日本が大きく成長していく時期だったそうです。

鴨宮には新幹線の像があって、当時、新幹線を作るための色々な試験を鴨宮で行っていたからだそうです。

新幹線がなかった時代は東京から大阪まで6時間30分かかりましたが、新幹線ができて4時間で行けるようになりました。いまはスピードや技術があがって2時間30分で行けることができます。

撮った写真があったら  
貼ってみよう！

### 【感想】

実際に自分たちが地域の乗り物の歴史を調べたりみたりしたことで感じたことや分かったことを書いてみてください！昔の人たちは多くの苦勞をしていたことも分かりましたね！

新幹線の所には、当時出来たときの日本の状況や地域の人たちの想いを調べてみたら面白いかもしれませんね！